

～住宅防火 いのちを守る10のポイント～

住宅火災の出火原因を件数の多い順にみると、「こんろ」「たばこ」「電気機器」「配線機器」「ストーブ」の順となっております。

いずれも使用者の不注意によるものが多く、ちょっとした気の緩みから火災が発生します。

毎日の暮らしで、下記のポイントに気をつけてみましょう。



【4つの習慣】

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
(IH キッキングヒーターでも、少量の天ぷら油から火災につながる危険がある)
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く
(プラグとコンセントの隙間のほこりや湿気が原因となり出火することがある)



【6つの対策】

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

～できていますか？暴風雪への備え！～

- ・暴風雪による被害は、晴天から荒天へと天気が急変したときに特に多く発生しています。
- ・テレビやラジオなどで荒天が予想されていることを知ったときは、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認しましょう。

* こんな時は要注意！！

気象台から「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えて下さい」のキーワードを使った情報が発表されたら、厳重に警戒を！

◎日常から暴風雪に備える

* 家の中で安全に過ごすため

- ・気象情報に注意して、暴風雪が予想されているときは外出を避けましょう！
- ・停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう！
- ・FF式暖房機等を使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。

* 止むを得ず車で外出するときは

- ・天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなど車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



◎問合せ先 留萌消防組合小平消防署 (☎ 56-2221)、鬼鹿支署 (☎ 57-1253)